

内部監査のレベルを決める監査計画の実務

～個別監査の計画と年次の計画で押さえておきたい作業のポイントと実施手順

「内部監査実務マスター・コース」〔第1回開催分（全9会合）〕

- 日時● 2019年9月4日（水）14:00～17:00
- 会場● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

会計監査を約20年続ける中、アンダーセンでは監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査に特化し、アンダーセン消滅後は朝日監査法人代表社員を辞してPwC（中央青山監査法人）に移り代表社員も務め、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任。2012年、シニアパートナーを早期退任し、ボルボ・グループで日本の内部監査統括を務め、同グループ会社UDトラックス㈱の監査役を今年まで続け、現在、藤井範彰公認会計士事務所として内部監査や不正対応・ガバナンス関連の講演や研修及び執筆活動に従事。

【最近の著書】「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」同文館出版 2016年で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法 20」2012年税務経理協会、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究 2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

●プログラム●

■講義／ 内部監査のレベルを決める監査計画の実務<14:00-16:30>

監査の出来栄は計画段階で相当部分が決まります。内部監査のニーズや経営層からの期待が高まる中でまず改善を考えるのは監査計画の実務です。それも年次のリスク評価も含めた年次の監査計画から個々の監査の計画まで一連の実務の手順やそこで作成される文書の様式を整えると共に、それぞれの段階で問題となる論点を押さえることが大事です。第1回ではこうした監査計画の全体のレベルアップを念頭において参考事例も紹介しながら、その考え方や実務の進め方を取り上げます。

1. 年次のリスク評価から監査計画の策定までの作業手順と実務論点の検討

・経営に資する監査の体制とリスクベースの監査を計画する際のポイント

2. 個別監査の計画作業において作成する文書と作業のポイント

・個別監査の前提となる共通ルールの策定と個別の計画文書の標準化など

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	32,400円	一般	35,640円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 30,000円 本体価格 33,000円〕

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（一社）企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 080-2102-1604 / FAX 03-5215-0951

190188	2019 9/4 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★本コースの全体プログラムは、弊会ホームページをご参照ください。

「企業研究会 内部監査実務マスター・コース」